

事務事業名	きりしま写真展開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 芸術活動の一環であり、写真展の開催は、政策に一致する。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 写真展の開催は、芸術活動を推進し、文化向上につながる。	
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市報及び県内の写真館を対象に、チラシ等で写真展の公募を行っているが周知に限界を感じている。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 写真人口も伸び悩みの感があり、開催回数の割りにマンネリ感がある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? ほかにも写真展が開催されており廃止しても、さほど影響がない	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 文化協会が開催する文化祭等での写真展示を行うことで事業費の削減ができる。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 文化協会加盟の写真同好会が自主活動として広く公募し写真展を開催することも考えられる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 広く市民に広報し、写真の公募を行っており、一部の市民の写真展ではないので不公平はない。また、写真展を市民ギャラリーで開催することで、写真を通じての文化振興につながっている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまで4回の写真展を開催したが、撮影ポイントが限られてきており、出品者等が特定された感がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
事業の全体的な見直しにより、ほかの事業との統廃合や経費の削減に努める。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
写真愛好家の間で、発表の機会や撮影技術の停滞が考えられる。

No.	1250-020	事務事業名	霧島美術展開催事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	01	スポーツ・芸術活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
県内在住者及び環霧島会議宮崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。実行委員会において、開催要綱決定 県内の画材店等での公募のためのポスター・チラシ作成 広報 搬入(受付作業) 審査 入賞作品展示 表彰式 搬出 実行委員会(精算事務)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 第5回美術展の開催のための諸業務活動 シビックセンター市民ギャラリーでの展示及び表彰式		ア	出品点数
			点
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 第6回美術展の開催(9/16~9/25までの10日間)。テーマ部門で霧島の風景(ジオパーク認定を目指す環霧島地域をテーマとしたものを含む)を追加。		イ	出品者数
			人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民・美術愛好家		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	霧島市内美術愛好家
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民の美術に対する関心を高める		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	美術展入場者数
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	きっかけ作りの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	320	618	605	580	
		一般財源	千円	1,500	1,191	1,238	1,275	
	事業費計(A)	千円	1,820	1,809	1,843	1,855		
活動指標		ア	点	322	312	311	320	
		イ	人	181	179	183	190	
対象指標		ア	人	1,300	1,300	1,400	1,500	
成果指標		ア	人	1,300	780	748	900	
上位成果指標		ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見が強い。	

事務事業名	霧島美術展	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	美術に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	鑑賞、発表する機会の提供は、文化振興の向上につながり妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	美術に対する関心も高まっており、妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果は十分出ている。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	美術に対する感動・関心の向上により地域活性化に与える影響は大きい。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷	類似事務事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	19年度に会費を値上げしており、今後の会費の増額は見込めないが、ポスター・パンフレット等の作成について、用紙・内容の変更や配布先・配付方法の見直しをしたり、賞品数の減により事業費の削減は可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	共催である霧島市美術協会の高齢化で会場準備・展示作業をシルバーに依頼しているが、今後ますますシルバーに依頼する作業内容が増えるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市民を対象に開催されており、適正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	展示会場のスペース、審査から展示までの日程、職員の事務量は、これ以上望めないが、事業費の観点から見直す必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ポスター・パンフレット作成にかかる仕様の見直し。 賞品数を減らすことにより、事務量・費用の減につながる。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 実行委員会への美術協会の関わり合いの度合いと、実行委員の選定について検討する必要がある。

事務事業名	こども絵画展開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	応募校・園が、毎年同じである。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	他のコンクール・絵画展で、補充できる。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象・意図は妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	多数の民間等のコンクール・絵画展が多すぎて、児童の高学年と生徒の作品数が極端に少ない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	創作意欲は他の絵画展・コンクールに向けられ、創作活動の割合が減る。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	募集・取りまとめ等を学校ごとで行い、審査も先生達に依頼している。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	他のコンクールや絵画展の開催情報を収集し、各園・小・中へ広報周知し他のコンクールや絵画展への参加を促す。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市内の園児・児童・生徒を対象に開催されている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	園児はテーマにそわない作品も多い、多数のコンクール等との競合も激しいため、児童の高学年と生徒の作品数が極端に少ない。時期をずらして開催しても、学校行事等と重なり、応募数の増加は見込めない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 他の絵画展・コンクールと合同開催するか、他の絵画展・コンクールを積極的に推進する。 園・学校で第1次審査後提出してもらう。																					
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持			▲	低 下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向 上																					
	維 持			▲																		
	低 下	▲	▲	▲																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内の園児・児童・生徒が自由に応募できるよう、絵画展やコンクールの情報をその都度周知し創作意欲のきっかけや選択の幅を広げてあげる。

No.	1250-040	事務事業名	みぞベスケッチ大会開催事業	所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	教育振興課
	施策名	03	スポーツ、芸術、文化の振興	課長名	福永 久治
	基本事業名	01	スポーツ、芸術活動のきっかけづくり	所属G(係)	教育グループ
				電話番号	58-3191

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
幼児から一般社会人を対象に、上床公園内の建物や風景をスケッチし、絵の具、クレヨン等で絵を1点仕上げる。審査は溝辺地区内各小中学校図工美術担当教諭及び、文化協会溝辺支部理事等があたり、学年(高校・一般)ごとに、秀作、特選、入選、佳作を決定し、賞状を授与する。さらに、秀作の中から大賞を1点選び、文化誌「文化みぞべ」の表紙絵に採用する。入賞作品については、溝辺ふるさと祭りの作品展示部門に展示し、その後、溝辺公民館歴史民俗資料室、福祉センターに一定期間展示し、多くの方に鑑賞してもらう機会を作る。展示終了後、作品は各人へ返却する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 1年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成20年度は、9月7日に実施 幼4名、小39名、中3名、一般12名 合計 58名		ア	事業参加者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
9月6日(日)、霧島市上床公園内で、スケッチ大会を実施する。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア	市民
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
溝辺の自然に触れながら美しく豊かな心情を培う。		名称	
		単位	
		ア	スケッチ展を鑑賞した人数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる		名称	
		単位	
		ア	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加の延べ人数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	35	34	33	31		
	事業費計(A)	千円	35	34	33	31			
	活動指標	人	64	61	58	100			
	対象指標	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	成果指標	人	2,000	2,000	2,000	2,000			
	上位成果指標	人	21,441	22,530	20,633	23,470			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成1年より、美術に対する関心を持ってもらおうと始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? その年によって参加者の増減があるものの、少しずつではあるが参加者が増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業の継続	

事務事業名	みぞバスケット大会開催事業	所属部	教育部	所属課	教育振興課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	芸術(美術)に触れ合う機会を提供している																													
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	霧島市教育委員会溝辺出張所と文化協会溝辺支部が主催となり実施している。実行委員会形式をとり、補助金で実施する方法ではできないのか。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	参加者のほとんどが溝辺地区からであるので、市報・新聞、ちゃちゃネット等を利用し全市内外に広報を広げている。平成20年度は、幼4名、小39名、中3名、一般12名、合計58名																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	参加者増と他地区からの参加者を増やす必要がある。優秀作品の市報への掲載や溝辺地区以外での展示会の開催。審査員の人選を霧島市まで広げることで充実した指導ができる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	他の旧市町でこの事業を実施しているところはないので、芸術(美術)に触れ合う機会がなくなる																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	実行委員会形式をとり、補助金交付で運営する。指導審査員に係る費用の削減																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加料の徴収																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	自然に親しむ機会を提供するとともに、芸術(美術)に対する意識の向上を図るため開催。																													
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 改革改善案 実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。 参加人員の増 参加対象地区の拡大 作品展示のあり方 参加料の徴収のあり方 審査員の人選		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下					
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 文化協会溝辺支部の自主運営能力の向上(この部分を解決しないと実行委員会への改善は図れません) 指導審査員に係る費用の削減(各支部との連携)																															

No.	1250-050	事務事業名	自主文化事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	01	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	06	157010	自主文化振興事業	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市内の文化施設を活用して、優れた舞台芸術及び演奏会等の芸術鑑賞事業を開催する。 主な手順 事業の選定 業務委託 広報活動及びチケット販売 事業の開催 事業費の主なもの 公演委託料 ポスター・チラシ・チケット印刷 著作権使用料 チケット販売手数料 など							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市民音楽の集い 火垂るの墓~ミュージカル 宝くじまちの音楽会~南こうせつコンサート		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) アグネスチャン・ファミリーコンサート 清水ミチコトーク&ライブ		回	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		席	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民に優れた舞台芸術やコンサートを鑑賞してもらう。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		人	
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		人	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	3,160	3,640	789	3,506	
		一般財源	千円	5,123	3,950	1,910	1,977	
事業費計(A)		千円	8,283	7,590	2,699	5,483		
活動指標		ア	回	3	4	3	2	
対象指標		ア	席	3,150	4,650	2,870	2,000	
成果指標		ア	人	2,048	2,117	2,150	1,800	
上位成果指標		ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 文化施設を活用した文化事業を展開し、市民に広く芸術文化に触れる機会の充実を図ることを目的に開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 余暇時間の増大や情報化、国際化の進展に伴い、生活スタイルや価値観が変化し、物質的充実から生きがいやゆとりといった精神面の豊かさを求める方向に変わっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 自主事業参加者アンケートによると、多様で高度な芸術文化事業を低料金で開催してほしいという意見がある。	

事務事業名	自主文化事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は、日常生活にゆとりと潤いを与え、文化の香り高いまちづくりに繋がりを与えている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、市が優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は妥当である	
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	より多くの市民が優れた舞台芸術を自発的に鑑賞する機運を高めてもらう。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	自主文化事業の内容を市民により詳しく周知すると同時に、市民ニーズを的確に捉えた事業の選定を行い事業を実施することで、より多くの市民が鑑賞することにつながる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	文化芸術に関心の高い市民からは、鑑賞機会の提供が望まれると同時に、文化の香り高い街づくりの整合性が問われる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	企業との連携により、事業PRのためのポスター・チラシに広告を掲載し、経費の削減に努める。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	公演当日の運営スタッフを市民ボランティアにお願いする。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	採算を優先させると内容が偏るため、各種ジャンルの催し物を計画的に実施し、鑑賞者の対象年齢や市民の鑑賞ニーズを的確に捉え幅広く市民に鑑賞機会を与える。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまで開催した自主事業においては、集客に苦慮している。事業の選定段階で、より集客を重視した種目を選定する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改 2117 2150 (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 自主文化事業を実施し、市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することは大事である。市民ニーズにあったジャンルと出演者の選定を行う必要があり、アンケート調査結果を参考に、公演種目を検討する。																		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 有名なおかつ話題性のあるアーティストを招聘したいが、そういうアーティストは金額的に高額である。限られた予算の中で催しを開催しなければならない。また、市民会館の客席数が1,050席あり、常に850席程度の入場者を確保することは非常に難しい。今後は、公演種目の選定段階で、より集客性の高いものを選定する必要があるが、より多くの市民の嗜好に応えるためには、集客の少ないジャンルも採算を考慮し、会場を変更して開催していく。

No.	1250-051	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	4	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1	0	6	6	157010	自主文化振興事業	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭参加アーティストと市民の参加する市民音楽祭を開催する。それぞれの演奏や共演、実施前にクリニックを行うなどの交流を図る。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・各事務精算		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 20 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	霧島市民音楽の集い	ア 音楽祭出演団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	霧島市民音楽祭	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民に音楽鑑賞の機会を提供し鑑賞者数を増やす。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	名称	単位
		ア 市民	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 市民音楽祭鑑賞者数	人
		イ 霧島国際音楽祭鑑賞者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			1,500	1,620		
	事業費計(A)	千円	0	0	1,500	1,620			
活動指標	ア	団体			9	6			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人			127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人			700	770			
	イ	人			10,181	11,000			
	ウ								
上位成果指標	ア	人			20,633	23,470			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上がりを図るため、霧島国際音楽祭参加アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
霧島市民音楽祭を開催することにより、霧島国際音楽祭への関心が高まるとともに、市民の音楽文化の向上が図られている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。	

事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民音楽祭を霧島国際音楽祭参加アーティストと市民参加の音楽祭として、今後も継続して取り組み、より市民に身近な音楽祭に育成する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 実行委員会の充実を図り、市民音楽祭の企画立案への参画の推進を図る。																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより、霧島国際音楽祭を身近に感じ、市民が参加する音楽祭として、広く親しまれるために、市民に広く周知することが必要である。

No.	1250-060	事務事業名	新春書初め大会運営事業	所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	教育振興課
	施策名	03	スポーツ、芸術、文化の振興	課長名	福永 久治
	基本事業名	01	スポーツ、芸術活動のきっかけづくり	所属G(係)	教育グループ
				電話番号	58-3191

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
小学生から一般社会人を対象に、それぞれ課題(審査委員及び文化協会で決定)をもとに清書を1点仕上げる。書体については、小学生は楷書、中学生は楷書又は行書、高校・一般は楷書、行書、草書からそれぞれ選択する。審査は溝辺地区内各小中学校国語担当教諭及び、文化協会溝辺支部書道関係代表者等があたり、学年(高校・一般)ごとに、金賞、銀賞、銅賞、佳作を決定し、賞状を授与する。入賞作品については、溝辺公民館及び溝辺総合支所において、一定期間展示し多くの方に鑑賞してもらう機会を作る。展示終了後、作品は各人へ返却する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 55年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成21年1月11日(日)、霧島市溝辺公民館研修室で、書初め大会を実施した。参加者数は小24名、中3名、一般9名 計36名		ア	事業参加者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
平成22年1月10日(日)、霧島市溝辺公民館研修室で、新春書初め大会を実施する。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア	市民
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
日本に古来から伝わる書道に触れ、書写能力の向上を図る。		名称	
		単位	
		ア	書席展を鑑賞した人数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる		名称	
		単位	
		ア	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加の延べ人数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	20	25	25	20		
		事業費計(A)	千円	20	25	25	20		
活動指標	ア	人	27	28	36	50			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	500	500	500	500			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和55年より、青少年育成の一つとして開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
参加者数が年々減少傾向にあったが、本年度は若干増えた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業の継続	

事務事業名	新春書初め大会運営事業	所属部	教育部	所属課	教育振興課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	芸術(書道)に触れ合う機会を提供している																													
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	霧島市教育委員会溝辺出張所と文化協会溝辺支部が主催となり実施している。実行委員会形式をとり、補助金で実施する方法ではできないのか。																														
対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	参加者が溝辺地区からである。市報・新聞・チャチャネット等を利用し全市内外に広報を広げる必要がある。平成20年度は、小24名、中3名、一般9名 計36名																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	実施内容(イベント)の工夫を図り、参加者(他地区からも)増を図る。審査員の人選を霧島市まで広げることで充実した指導ができる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	他の旧市町でこの事業を実施しているところはないので、芸術(書道)に触れ合う機会がなくなる																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。指導審査員に係る費用の削減																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	文化協会が主体となり、少ない予算の中で、芸術に触れる機会を創設している。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年の健全育成と、日本古来の書道に親しむ機会を提供するため実施している。																													
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付での運営。 参加人員の拡大、参加対象地区の拡大 実施内容の工夫				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 文化協会溝辺支部の自主運営能力の向上(この部分を解決しないと実行委員会への改善は図れません) 指導審査員に係る費用の削減(各支部との連携)																															

No.	1250-070	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	01	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 特になし	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を喚起するとともに、豊かな情操の かん養に資する。霧島市内の中学生を対象に霧島市民会館、溝辺公民館等のホールに集め、芸術鑑賞会を実施す る。 県への開催希望申請 内定 学校との調整 実施							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市民会館において、「青少年のための芸術鑑賞事業」2回公演実施。 対 象：19年度実施校を除く霧島市内の中学三年生 国分南中学校において、「生徒芸術鑑賞会」実施。対象：全校生徒		ア	公演回数
		イ	
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島市民会館において、「生徒芸術鑑賞事業」2回公演実施予定。 対 象：19年度実施校を除く霧島市内の中学三年生		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市内中学生		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	生徒数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生の舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高 め、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	鑑賞生徒数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	293				
		一般財源	千円	358	329	715	904	
	事業費計(A)	千円	651	329	715	904		
活動指標		ア	回	1	1	2	2	
		イ						
		ウ						
対象指標		ア	人	860	4,098	4,098	3,975	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	人	307	635	1,181	970	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成8年度から、溝辺地区内中学生の芸術鑑賞事業として開始された。その後、小学生の参加する事業となった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併により溝辺地区内から、近隣の横川、牧園へも地域を広げた。それに伴い、平成19年度より中学生のみを対象とする事業となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)	

事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業として小学生対象の青少年劇場を実施しているが、事業の実施対象が異なる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	多感な生徒に、生の舞台芸術の鑑賞機会を提供することは意義がある。対象校が日程調整に苦慮するが、今後も継続して実施したい。
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 現状のやり方で進めたい。県の「青少年のための芸術鑑賞事業」の採択枠が市町あたり1箇所しか採択されないため、一般財源での追加しての事業開催が必要であるが、現状の開催方法を踏襲したい。
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
一堂に会しての開催は、学校間の日程調整が難航する。学校の年間行事計画協議段階において、開催日を明確に位置づける。	

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

事務事業名	青少年劇場開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内の小学校34校を対象にして、3年に1回の割合で鑑賞機会を提供し、子どもたちに夢と感動を与えている。今後も、ローテーションを維持し、児童が均等に鑑賞できるよう事業を計画したい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 地区別に、生徒数の多い学校を開催校とし、周辺の学校と合同で開催している。今後、少子化による児童数の減少や新設校による児童数の変更等が予想されるため、旧市町の地区割りによる開催の変更や文化施設等での開催等、公演実施校のローテーションを再検討をする。																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
生徒の送迎のためのバス借上げ料が必要になる。

事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 心豊かで質の高い生活を送り、創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、優れた音楽に触れることのできる音楽祭は文化の創造を図る街づくりに必要であり文化の振興につながる。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高い街づくりに必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象及び意図については現状維持とする。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 講習会と演奏会がセットになった音楽祭である。受講者数は伸びているが演奏会への入場者は横ばいの状況である。演奏会の内容を魅力あるものにし、観客数を増やすことは期待できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 国内外で評価の高い音楽祭であり、街づくりにマイナスイメージを与える。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業なし	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 全体事業費の約1割相当を補助している。主催者の経費削減に努力することにより補助金の減額は可能と思う。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 主催者において必要最小限の、人件費で運営されており削減の可能性は低い。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。演奏会への入場者が少ないが、広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	開始以来28回を数え、国内有数の音楽祭にも関わらず、一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強い。市民層に親しまれ受け入れられる音楽祭にする必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 演奏家のプログラム内容を市民が知っているポピュラーな曲目を演奏し、市民に親しまれる演奏会とする。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 一流の音楽家のプライドがあり、どうしてもむずかしい曲目編成となってしまうので、演奏家に理解をしてもらう。

事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市民が芸術文化活動に取り組む中で、成果を発表する場が必要である。施設を整備し、充実した機材などを活用することで、利用者のニーズに答え文化活動を活発にすることにつながり妥当である。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市が設置している施設である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市民会館の利用者(市民)の利便性を対象にしており妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 計画的な施設整備並びに器材のメンテナンス整備が必要である。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 文化施設が限られている中で、中心的な役割を持つ市民会館の整備は必要である。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 市民会館は独立した施設であり、事業の統廃合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 施設器材整備については、取り扱いを注意していても経年劣化に伴う故障が発生する。適切な維持管理と併せ年次的に計画的に整備することが必要である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 最少の人員での運営をお願いしている。(指定管理直接指定)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 文化活動の拠点施設として、広く市民に活用してもらおう施設である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	経年劣化に伴うメンテナンスが必要である。安全管理上、計画的な整備が必要であるが、予算の先送りにより整備計画に支障が出ている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 施設の管理においては、指定管理者と連携を図り、経費節減に努めながら管理運営を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
年次的な整備計画に基づく予算配分が必要である。

No.	1250-150	事務事業名	市少年少女合唱団運営事業			所属部	教育部
						所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり			課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術・文化の振興			所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	03	芸術文化団体の育成			電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	06	06	157090	文化振興費	霧島市少年少女合唱団要項

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。合唱団は市内の小学3年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回土曜日(午前)を練習日としている。成果の発表として、鹿児島県合唱連盟主催の合唱祭や地区の文化祭等に出演している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) ・霧島市民音楽の集い(霧島市市制3周年記念事業) ・霧島市市制3周年記念事業記念式典フィナーレ ・まちなか音楽会(霧島商工会主催)		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) ・8月9日(土)山鹿少年少女合唱団との合宿練習(みそめ館、交流センター) ・8月10日(日)山鹿少年少女合唱団との交流演奏会(霧島市民会館)		ア:演奏会の開催 回	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・合唱団員 霧島市内の音楽(合唱)に興味のある小・中学生 [補助金交付先]霧島市少年少女合唱団 [補助対象活動]合唱練習及び演奏会等の出演		イ:練習回数 回	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童生徒に文化活動に親しむ機会を与え、心豊かな青少年育成と音楽文化水準の向上を図る		ウ:	
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア:児童数 人	
		イ:生徒数 人	
		ウ:	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア:活動している団員数 人	
		イ:	
		ウ:	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア:芸術文化団体・組織の数 団体	
		イ:芸術文化団体・組織の会員数 人	
		ウ:	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	162	145	138	124		
	事業費計(A)	千円	162	145	138	124			
活動指標		ア 回	6	6	8	5			
		イ 回	29	30	30	34			
		ウ							
対象指標		ア 人	8,209	8,125	8,126	8,053			
		イ 人	4,067	4,098	4,010	3,975			
		ウ							
成果指標		ア 人	50	46	34	40			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 団体	243	243	244	249			
		イ 人	4,474	4,472	4,180	4,433			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 児童生徒の健全育成を推進するために、旧国分市を中心に結成された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の減少に伴い、団員が減少してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 公民館教室として、隼人及び横川地区に合唱教室が開設され運営している。今後は、霧島市の合唱団として統合しての運営を検討する必要がある。	

事務事業名	市青少年合唱団運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合唱団結成後、12年を経過している。組織体制のあり方や運営内容について検討する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下																
<改革改善案> 設置目的を明確にし、自主運営できる組織体制を整備する。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
団員が児童生徒のため、指導者及び保護者による活動の支援が必要であるが、運営体制が確立されていない。

No.	1250-160	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	溝辺出張所教育振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	福永 久治
	施策名	03	スポーツ、芸術・文化の振興				所属G(係)	教育グループ
	基本事業名	03	スポーツ、芸術・文化団体の育成				電話番号	58-3191
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	社会教育法第5条第1項第12号(青少年への体験活動の実施) 同法第11条第2項(社会教育団体への援助)	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 溝辺たかや太鼓保存会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動) 当保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。また、運営の指導助言を行っている。
 (保存会の活動) 週1回の練習を行い、演奏技術の向上を図り、市主催行事や民間からの演奏依頼に応えている。最近では、小学生の加入もあり、成人と活動を共にすることにより、社会教育活動の一環として青少年健全育成に努めている。
 溝辺たかや太鼓保存会とは、町興し事業の一環として発足した団体。

事業期間
 単年度のみ
 単年度繰返
 ↳ (S 63 年度 ~)
 期間限定複数年度
 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要とともに、溝辺夏祭りにおける太鼓演奏、溝辺ふるさと祭りにおける太鼓演奏、元旦における太鼓演奏、始良地区おやしサミットにおける太鼓演奏。		ア	補助した団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) H20年度と同様。		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) H20年度と同様。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
溝辺たかや太鼓保存会会員 補助金交付先 > 溝辺たかや太鼓保存会 補助対象活動 > 溝辺たかや太鼓保存会の運営に要する経費		名称	
		ア	補助対象団体数
		イ	補助対象団体の会員数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
溝辺たかや太鼓保存会の円滑な運営と財政の健全化を図る。		名称	
		ア	自主財源率
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。		名称	
		ア	芸術文化団体・組織の数
		イ	芸術文化団体・組織の会員数
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	180	30	30	30	
		事業費計(A)	千円	180	30	30	30	
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
活動指標		イ 人	15	15	15	15		
活動指標		ウ %	12	55	49	50		
上位成果指標		ア 団体	243	243	244	249		
上位成果指標		イ 人	4,474	4,472	4,180	4,433		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金を交付を開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 会員が、当初成人のみであったが、現在は小学生も会員になっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 活動が知られることにより、出演依頼がある。

事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	溝辺出張所教育振興課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか? 地域興し、ふるさとづくりに努めている																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? まち興し事業の一環であるため 青少年の健全育成であるため																								
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 広く市民に参加(会員)を呼びかける																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 保存会会員の加入促進を図る。 H20年度 会 員… 15名(一般 8名, 児童・生徒7名) 練習日… 原則毎週月曜 20:00~22:00 みそめ館ホール舞台で練習 主な出演活動 7月26日:溝辺夏まつりオープニング 11月 2日:霧島市溝辺ふるさと祭り前夜祭での演奏 1月 1日:遙拝式オープニング 2月22日:始良地区おやしサミットでの演奏																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 保存会の運営に係る経費を、全て保存会負担とするには無理がある																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の適正化を図った																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 保存会の主体的な運営になった。																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 小学生以上なら会員になりたい人は誰でもなれる																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		合併前、旧溝辺町の町興し事業として、溝辺町が立ち上げたもので設立後、会員の努力により継続してきた。現在は、成人の会員が減少し、子供たちに頼っている状況であるので、会員増を図るなど努力している。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 改革改善案 > 成人会員の加入促進を図る。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 成人会員の加入促進を図る。 購入後21年が経過し、大太鼓の革の一部が破けるなど老朽化が進み、革の張り替えを要する時期にきている。																										

事務事業名	市文化協会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	文化協会を核とした文化活動を日常生活の中に積極的に取り入れてもらうことは、芸術文化の振興につながる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	文化協会を核とする文化団体に市が参画し支援することは霧島市の芸術文化向上に寄与していることから妥当である。	
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	文化協会の活動に関心を持ち文化活動を行うことは、協会の組織充実並びに地域の文化向上に必要である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	文化協会等の組織の充実を図り、積極的な文化活動を展開することにより、新たな会員や新規団体の掘り起こしにつながる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	文化活動の停滞や地域の文化活動の担い手が減少する。	
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地域に根付いたそれぞれの文化協会独自の活動を展開しているが、各部門ごとの統廃合を進め、活動を活性化させる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	会費の値上げや自主財源の確保により、事業費の削減は可能である。
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	文化協会会員が認識を改め、会員相互の協力により行政に頼らない運営が必要であり、行政側は側面からの支援を行う事により人件費の削減につなげる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	文化祭等、市民を対象に開催されている。また、それぞれの会員が文化協会費を負担している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合併に伴い、新たに霧島市文化協会が設立され活動を展開している。全体的に文化協会会員が高齢化し、若年層の参加が少ないため、活動がマンネリ化している。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改:10 <改革改善案> 文化協会各支部の部門ごとの統合を進め、活動の活性化を図り、多種の文化活動を積極的に展開すべきである。協会の若返りを図り、新しい感覚での魅力ある文化活動を模索する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 文化協会活動内容のマンネリ化及び協会員の高齢化が問題である。また、催し物へ参加するだけの会員も多いため、一人一人が文化協会の運営に関わって文化協会の活動を活性化させるため、役員を含め今後のあり方を協議する場を設定する。

No.	1250-180	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業				所属部	教育費	
							所属課	霧島教育振興課	
			政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり		課長名	福森 茂樹
			施策名	0	4	伝統文化の保存・継承		所属G(係)	教育G
基本事業名	0	2	保存団体への支援		電話番号	57-1111			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	1	0	0	6	0	6	157090	文化振興費

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催 ・観光資源としての神楽公演 ・神楽師が在籍する振興会の運営 【主な活動内容】…天孫降臨霧島祭への参加(例年)、依頼公演、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		S H	
手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		名称	
天孫降臨「霧島祭」出演 霧島チャレンジャー指導 公民館講座「霧島神楽」指導		ア	神楽振興会の公演回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	神楽の練習延べ日数
天孫降臨「霧島祭」出演 霧島チャレンジャー指導 公民館講座「霧島神楽」指導		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
観光客・市民・振興会員 【補助金交付先】霧島神楽振興会 【補助対象活動】霧島神楽振興会の運営に関する経費。		ア	人口
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	神楽振興会会員数
霧島市の知名度UP ふるさと霧島の再発見 郷土芸能の伝承		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
伝統文化を継承し広めてもらう。		ア	活動している神楽振興会の会員数(実)
		イ	神楽振興会への新規加入者数(実)
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	発表を行っている団体数
		イ	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	1,084	116	521	366
		一般財源	千円	660	530	530	477
		事業費計(A)	千円	1,744	646	1,051	843
活動指標	ア	回	11	6	25	24	
	イ	日	21	16	28	28	
	ウ						
対象指標	ア	人	127,615	127,871	128,128	128,383	
	イ	人	42	43	46	46	
	ウ						
成果指標	ア	人	35	36	37	37	
	イ	人	1	1	1	1	
	ウ						
上位成果指標	ア	団体	44	43	44	44	
	イ	人	2,450	2,432	2,644	2,450	
	ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成8年5月に旧霧島町内の民家で270年前の古文書が発見され、約80年前まで霧島神楽が現存していた記述があり、教育委員会が町民の関心を高めようと波野村の「中江岩戸神楽」を体育祭に招待したのがきっかけで、町民の意識が高まり神楽復活への動きとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動(役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆき、今では30名ほどで活動している。しかし、近年、新規会員の加入もあり、やや活気付いてきていることも事実である。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
伝統芸能を保存・伝承してゆかねばならないことは、多くの方々にご理解いただいているが、それらが、会員の増加や予算の確保等に実質結びついていないのが現状である。	

事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	所属部	教育費	所属課	霧島教育振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島チャレンジャー(神楽体験)や霧島神楽公民館講座での指導を通じて市民に対する伝統文化を学ぶ環境づくりを形成すると共に神楽伝承団体である神楽振興会への支援を行った。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市が市内各所に存在する伝統芸能の保存や継承をどのような方法(財源支援、人的支援)で行ってゆくかの方針が決定されていないため詳細は不明だが、少なくとも霧島市政策体系に「保存団体への支援」が謳われている以上、財源的でも人的でも税金を投入せざるを得ない事に変わりはない。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	現在行っている活動対象については限定すべきではなくむしろ拡充して行くべきであると考え。また、対象の拡充により意図も拡大されるものと考え。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	伝承活動も10年を経過し、温故知新の精神で新たな神楽師の発掘と、新たな「座」の創設も視野に入れながら新霧島神楽への脱皮も図って行くこととする上では向上の余地はあるものと考えます。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	事務事業を廃止された場合、活動の裏づけとなる財源的なものの確保が困難となり、伝統芸能の保存伝承という政策体系が崩壊する可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	伝統芸能はそれぞれが地域慣習や歴史的行事を引き継いでいるものが多く、連携は出来ても統廃合は困難であろうと考える。当該団体においては市内に類似団体すらく、(統廃合・連携の)可能性は薄い者と考え。
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	本事務事業に限って言うとうとH21予算はH18予算対比47%減であり、このままの推移を維持すると仮定した場合H30予算ではH18予算対比約80%になります。こうなると政策体系の事務事業に記載のある「伝統文化を学ぶ環境づくり」や「保存団体への支援」をどのような形で継承して行くかを再検討しなくてはならないのではと危惧いたします。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	発足当時の経緯から行政として関わらなければならない状況が続いていますが、ご指摘のとおり各種団体事務の移譲は、今後、充分検討しなければならない事項である事は認識しております。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		芸能伝承事業についての受益者の定義は困難であるが、少なくとも当該団体の構成員でない事は明白であり、あえて言うならば公演時の観客であり、公演の依頼者であると考えます。本来であれば公演時の公演料を定額化するべき所ではありますが、公的な行事等への参加も多く、そこまで踏み込めないのも実情であります。(公的依頼とその他の依頼との関係でいうと公平であるものと考えます。)

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
<p>目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>・新たなもの(神楽師確保、座創設)への取り組みが不完全</p> <p>・団体運営事務の民間への移譲が不完全(創設時の経緯による)</p>																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
<p><改革改善案></p> <p>新たなものを創設するという構成員の意識を向上させ、現状の打破をする。</p> <p>・公民館講座を通じ、新たな神楽師の募集・育成を行う</p> <p>・新座を構成員全員で創設できるよう研究する。</p> <p>組織運営の移譲</p> <p>・10年経過を機に、年度を区切って事務局の移譲を検討する。</p> <p>・事務局員になるべき構成員を育成する。</p>																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
<p>・新座の創設には相応の経費と時間の増大が見込まれるが、その確保をどうするか?・・・現状の財源では年間活動をしながらの新座創設は困難であるため、半年～1年間の活動を新座創設のみとする必要がある。</p> <p>・新たな神楽師の育成をどうするか?・・・神楽=熟年者というイメージがあるが現代神楽の多くは若年者層が中心となって伝承している所が多く見受けられることから、中学・高校等でのイベントに出演し市内に現存する伝統芸能を少しずつでも若者に興味をもって貰うことも一つの方法だと考える。</p> <p>・組織運営の移譲・・・最大の課題は、事務局員の選任であり出来る限り年度を区切った移譲を行いたい。</p>																											

No.	1250-200	事務事業名	文化財保護啓発事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	01	伝統文化を学ぶ環境づくり				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 特になし	
	一般	10	06	07	158090	文化財保護費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。 文化財に関するパンフレットの作成 市報に「郷土史への扉」を掲載 文化財保護強調週間の周知 「文化財防火デー」に合わせて、神社による防火訓練の実施 出前講座による歴史講座の実施 など						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 広報。文化財防火デー。 鳥津義久関係パンフレット作成。 広報誌に「郷土史への扉」を掲載。 出前講座による歴史講座の実施。 文化財保護強調週間の周知化。 加盟協議会等への参加。		名称 ア 広報活動・情報発信の数 件 イ 文化財防火訓練の実施 回 ウ パンフレット・文化財調査物の刊行部数 冊	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島 歴史探索の道」パンフの増刷。 広報誌に「郷土史への扉」を掲載。 文化財保護強調週間の周知化。		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 地域(市民)の人口 人 イ 文化財の数 件 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 地域住民(市民) 市内の文化財		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 文化財に関心をもち、イベントの参加した人数 人 イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域の伝統文化(史跡・文化財等)を学び地域を知ってもらおう。 文化財に関心をもち、大切にすることをもちってもらおう。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 伝統文化を知っている市民の割合 % イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,894	3,907	1,745	1,789	
事業費計(A)		千円	2,894	3,907	1,745	1,789		
活動指標		ア 件	10	10	10	12		
		イ 回	3	3	3	3		
		ウ 冊	7,000	7,000	2,500	2,000		
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ 件	664	665	667	890		
		ウ						
成果指標		ア 人	未把握	14,497	15,507	16,000		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	67.0	71.5	80	72		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴史や文化財を地域住民の方々にもっと知ってもらい、文化財に関心をもち、大切にすることを目的として文化財啓発事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。これまではそれぞれの市町の文化財や歴史は学んでいたが、新しいまちのことについては知らない状況である。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。	

事務事業名	文化財保護啓発事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がける。結果として、政策体系の「育み磨きあまちづくり」、施策の「伝統文化の保存・継承」に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが重要である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 霧島市は古くは旧石器時代から始まり、クマノ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。このように新市霧島には多くの文化財が点在しているため、市民に紹介したい文化財が多い。よって、本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考える。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 夏祭りや福祉大会などに市内の文化財を紹介するコーナーを設置したりして連携を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他の事業や地域住民と連携して市内の文化財を紹介することで、より郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができ、効果が上げられる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 文化財の広報活動については、市報やHPなどを駆使することにより、より効果をあげることができる。地域やNPOなどが主催する史跡めぐりなどの事業を奨励することで、効果をあげることができ、さらには人件費の削減にも繋がる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 史跡めぐりコースパンフレットの作成については、印刷前にできるだけデーター化することにより、印刷製本費を削減することができる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。また、ガイドブックについても有償としたので、本事業は公平が保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他の事業と連携を持ちながら事業を進めることにより、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むことができるよう事業を展開していきたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 市民が霧島市の文化財を学びやすい環境をつくり、郷土の歴史・文化を正しく理解してもらう。 夏祭りや福祉大会などに市内の文化財を紹介するコーナーを設置。 地域やNPOなどが主催する史跡めぐりなどの事業を奨励する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
市民の歴史・文化を学ぶ意思を高めるには、歴史・文化に関する情報を提供する。 市役所の他の部局との連携を密にし、各主催事業の中に市内の文化財を紹介するコーナーを設置できるよう工夫していく。 地域やNPO団体等が文化財の大切さを認識していただき、史跡めぐりなどの事業を展開してもらう。

No.	1250-210	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業				所属部	教育部	
							所属課	文化振興課	
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり			課長名	川原 和 昭	
	施策名	0	4	伝統文化の保存・継承			所属G(係)	文化財G	
	基本事業名	0	2	保存団体への支援			電話番号	42-1111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	法令根拠	霧島市補助金等理念条例 霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	一般	1	0	0	6			0	7

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会を提供を行う。 主な業務の内容 民俗芸能保存活動事業費補助金(運営補助) イベント等への出演依頼						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 50 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱に従い、それぞれの団体に運営補助を行った。 各種イベント等へ出演の機会を提供を行った。		ア	運営補助している郷土芸能保存会の数 単位: 団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱に従い、それぞれの団体に運営補助を行う。出演の機会を提供を行う。		イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民 保存団体の構成員 <補助金交付先:郷土芸能保存会> <補助対象活動:郷土芸能を継承するための運営補助>		ア	人口 単位: 人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土芸能が保存・継承される。 伝統文化にふれる機会を持つ。		イ	運営補助している保存会会員の数 単位: 人
結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化を継承し、広めてもらう。		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	発表の機会 単位: 回
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	郷土芸能に関わる人数(団体登録者) 単位: 人
		イ	発表を行っている団体数 単位: 団体
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	815	496	510	618		
	事業費計(A)	千円	815	496	510	618			
活動指標		ア 団体	23	14	16	16			
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
		イ 人	508	396	341	400			
成果指標		ア 回	22	32	36	36			
上位成果指標		ア 人	2,450	2,432	2,450	2,450			
		イ 団体	44	43	44	44			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 郷土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため、また、後継者を育成するために始められた。 運営補助としては、昭和50年代から実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。 保存会会員の高齢化が進むことで、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。(平成18年度:34団体中2団体が活動休止)	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。 市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	

事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、市民への披露などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 地域の行事や運動会、文化祭、市主催の行事など、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行ってきたい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このことから、本事業を継続する必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 夏祭りなどの各種イベントに郷土芸能を披露する機会を設ける。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 郷土芸能等を後世に残していくには、本事務事業を継続していくとともに、他の事業(郷土芸能を披露できる事業)と連携していくことも必要である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本来郷土芸能は、それぞれの地域に根付いたものであり、保存会だけの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。そのため、保存会への運営補助を削減することは厳しい状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらの方を考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>本来、郷土芸能はそれぞれの地域に根付いたものであり、保存会だけの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、保存会だけの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。さらには、これまで以上に郷土芸能を披露する機会を多く設け、市民に郷土芸能の素晴らしさを周知するとともに、保存会の活性化が図られるようにしていく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 生活様式の多様化や高齢化・少子化が進むことで、本来地域に備わっている連帯感が薄れてきている状況である。その中であって、郷土芸能を継承する人が少なくなることが懸念される。 保存会だけの保存継承ではなく、地域全体で取り組む体制が必要である。																						

No.	1250-240	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	03	文化財の保存・整備				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 文化財保護法、霧島市文化財保護条例	
	一般	10	06	07	158025	緊急埋蔵文化財発掘調査事業(民間分)		
					158030	緊急埋蔵文化財発掘調査事業(直営分)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施した。 アパート建設に伴う発掘調査 隼人駅前口土地区画整備事業に伴う発掘調査		ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施する。 緊急対応であり、見込分として計上している。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
周知の埋蔵文化財包蔵地		名称	
開発行為によって破壊される埋蔵文化財		単位	
		ア	周知の埋蔵文化財包蔵地の数
		イ	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
破壊される遺跡を記録保存し、また調査の成果を公開し、霧島市の歴史・文化への理解を深める。		名称	
		単位	
		ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
		イ	発掘調査報告書の数
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
文化財をを適切に保存し、後世に残す。		名称	
		単位	
		ア	保存されている文化財の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	20,700	5,000	2,618			
		地方債	千円						
		その他	千円	763	7,400	599	9,000		
		一般財源	千円		4,778	6,149	2,050		
	事業費計(A)	千円	21,463	17,178	9,366	11,050			
活動指標		ア	件	3	1	8	1		
		イ							
		ウ							
対象指標		ア	ヶ所	516	516	518	518		
		イ	件	3	1	3	2		
		ウ							
成果指標		ア	件	3	1	8	2		
		イ	冊		300	300	300		
		ウ							
上位成果指標		ア	件	664	665	667	807		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応するため予算を計上している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。	

事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 研究機関による調査	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業を円滑に進める上でも委託等による民間業者の活用を図る必要がある。しかし、それには委託経費の増加が見込まれるので検討を要する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 作業従事者の専門性の向上を図り、現地調査の迅速化を行う。業務の一部を外部に委託して効率化を図る。																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 民間開発は緊急に入り込むため、対応に苦慮している。文化財包蔵地の周知を徹底し、長期的な計画を組み立てられるように図る。

事務事業名	市内遺跡確認事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	発掘調査における精密機器の導入や測量・実測、製図等の業務委託の推進により、埋蔵文化財の記録保存の精度をあげ、効率的な調査を実施するように検討していく。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 調査の精度、特に測量は現在平板等を使用しているため、精度が落ちてしまっている。新たに機器を導入するか、機器類を持っていて、単なる測量技術だけではなく、埋蔵文化財専門の測量員がいる業者に委託するか検討しなければならない。新たに機器を購入するか、委託を推進するかは、効率性や費用の面について検討しなければならない。																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 機器の購入には大きな費用負担を要する。また、機器を使用するのは職員であるため、事務量に関してはあまり変わらない。委託業務の場合は、測量、遺物実測、測量・実測図の製図等まで一括してできるため、職員の事務量は少なくなる。長期的に考えると費用はかかるが、委託をせず、機器を購入して職員が調査を実施した場合、職員の人件費もかかることになる。

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	文化財保護法に則した事業であり妥当である。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	開発に伴う発掘調査で得られた資料を公表する記録保存は文化財保護法に則って行う必要があり、義務である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	調査された遺跡・遺物についての実施であり、対象・意図ともに変える必要はない。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	整理工程の見直し、民間業者の活用などによって効率的な作業が可能である。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 緊急埋蔵文化財発掘調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	事業費については、作業に必要な最低限の消耗品費、光熱費、通信運搬費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	常勤職員は別事業との兼務が多く、厳しい状況であるが、業務の一部を委託することによって業務時間を削減できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業を円滑に進める上でも委託等による民間業者の活用を図る必要がある。しかし、それには委託経費の増加が見込まれるので検討を要する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 合併した旧市町の作業従事者の適正な配置を行い、効率的な事業を行う。また、作業効率の良い作業場を確保する。現地調査時において単年度で終了するように経費・人員等の適正な配置を行う。業務の一部を外部に委託して効率化を図る。																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業を進める上で必要な場所の確保に苦慮し、合併効果が活かされていない。

No.	1250-270	事務事業名	文化財整備事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	03	文化財の保存・整備				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	07	158090	文化財保護費	霧島市文化財保護条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。 環境整備とは、文化財整備を終えた文化財の維持管理のことをいう。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 62 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 県指定「高座神社の社叢」イチイガシ枝木剪定 県指定「旧田中家別邸」雨漏修繕 市指定「小みかん」養生 文化財説明板の設置 霧島神宮社殿修復事業		ア	整備した文化財の数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	設置した文化財説明板・標柱の数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市内の文化財		ウ	環境整備を実施する文化財の数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 文化財の整備(文化財の修復、復元、養生や文化財周辺の整備)を図る。文化財について解説し、正確な情報を提供する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を適切に保存し、後世に残す。		ア	市内文化財の数
		イ	環境整備を実施する文化財の数
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	整備した文化財の数
		イ	設置した文化財説明板・標柱の数
		ウ	環境整備を実施した文化財の数
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	保存されている文化財の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			920			
		地方債	千円						
		その他	千円		388	0	0		
		一般財源	千円	817	1,764	1,984	2,204		
	事業費計(A)	千円	817	2,152	2,904	2,204			
活動指標		ア 件	4	3	4	2			
		イ カ所	25	24	20	12			
		ウ 件	43	45	46	45			
対象指標		ア カ所	664	665	667	807			
		イ 件	43	45	46	45			
		ウ							
成果指標		ア 件	4	3	4	2			
		イ カ所	25	24	20	12			
		ウ ケ	43	45	46	45			
上位成果指標		ア 件	664	665	667	807			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。 草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 文化財の経緯等が、説明板でわかったという声が寄せられている。 草払い等掃除することにより、きれいになったという声が寄せられている。	

事務事業名	文化財整備事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 文化財の修復、復元、養生等の整備(環境整備も含む)を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ残すことにつながる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らしめ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 市全域の文化財を対象としており、適切な範囲である。また、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信し、後世に伝える必要があることから意図も適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 文化財への認識が薄く、関心をもたない人もいるのが現状である。歴史ある文化財がいかに貴重なものであるかを認識してもらい、文化財愛護思想を高める事でさらに文化財の保存が図られる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他事務事業及び類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用の面から考えて整備対象を増やしていく必要があるため、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>文化財の現状、整備が必要な文化財を的確に捉えながら、事業の内容等を工夫し、効率性の確保と効果の向上を検討する。整備にあわせて市民への普及の方法も検討する。</p>										
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><改革改善案> 定期的な文化財視察を行うこと、県の文化財巡回指導員や地域住民との連絡を密に取ることから文化財の現状を把握し、必要な対策を講じる。 文化財説明看板や標柱を設置すべき場所、取替えが必要な場所等を把握し、優先順位をつけ、対応していく。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
<p>台風や自然災害等により被害を受ける文化財も少なくない。その際、市内全域を限られた職員で確認することは難しい。日頃から地域住民が文化財に対して関心を持つような意識作りが必要である。</p>																							

事務事業名	埋蔵文化財保護事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	埋蔵文化財を保護するため、開発行為の一部見直しや一部計画変更などを事前に協議し、協議しても破壊される遺跡については発掘調査を行い、記録保存して遺跡を後世に残すことで、文化財の適切な保存に結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。埋蔵文化財の保護については、開発部局や民間の開発業者との調整だけでは費用はかからないが、手引きなど大いに活用されているので、不足分は今後増刷していく。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	周知の埋蔵文化財包蔵地における開発は、施工前に試掘・確認調査によって遺跡の有無を確認しなければならないので、件数は年度ごとに差異が生じるが、対象・意図ともに変える必要はない。
効率性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	地方公共団体等の場合は、開発件数が把握できるが、民間の場合は不透明であるため、件数の多い年度、少ない年度とばらつきが生じてしまうため、向上させようとしても思うようにはいかない。個々の件に関して、それぞれの対応をするしかない状況である。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	埋蔵文化財や包蔵地内での開発に関する手続き方法の周知を実施することは、文化財保護部局としては当然しなければならないものであり、埋蔵文化財保護の初歩的な事業なので、廃止・休止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費はかからない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	地方公共団体等の場合は、開発件数が把握できるが、民間の場合は不透明であるため、現在いる職員の中で対応するしかないので、削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	埋蔵文化財の手引きに関しては、文化振興課のみならず、建設部等でも配布していただいているので、様々な方面に行き渡っている。公平・公正になっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	民間開発などはいつ実施されるかわからず、また、急を要する件がほとんどである。スムーズな業務を推進するためにも、このような協議の業務が必要になる。また、冊子を作成し、配布することで慎重な開発計画を立ててもらうことができる。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	1250-310	事務事業名	国分郷土館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	05	156010	郷土館管理事業	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
国分地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷への造詣を深める。 また、それぞれの郷土館が持つ資料などを活用して、特別展・企画展・郷土館収蔵品展等を実施する。併せて、市内の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、スタンプラリーを行い、市内の特色ある歴史・文化に触れ、郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。		単年度のみ 単年度繰返 ↳ (S 54 年度 ~) 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 企画展「島津家の歴史をたどる」 郷土館収蔵品展「国分寺瓦が語る郷土の歴史」「まちの移り変わり」 体験活動「ミニ門松づくり」 スタンプラリー「きりしまっ子！発見の旅」 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 企画展「国分郷土館リニューアル展」 郷土館収蔵品展「活火山と遺跡展」 体験活動「ミニ門松づくり」 クイズラリーの実施 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市民 市民以外の人 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		名称 単位 ア 開館日数 日 イ 特別展、企画展、収蔵品展等の開催回数 回 ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 霧島市民の数 人 イ ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 入館者数 人 イ スタンプラリーに参加した人数 人 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 郷土の歴史を学んだ市民の数 人 イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	115	106	86	93		
		一般財源	千円	5,191	4,441	4,675	4,529		
事業費計(A)		千円	5,306	4,547	4,761	4,622			
活動指標		ア 日	314	311	315	313			
		イ 回	6	5	6	4			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 人	3,907	3,714	1,231	2,000			
		イ 人	107	222	123	240			
		ウ							
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和54年、国分の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、国分郷土館を建設した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 郷土館の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展(2回)、体験学習、スタンプラリーなどを積極的に実施しているが、入館者数は3500人~4000人と低迷している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国分郷土館は城山公園(山頂部)の一角にあり、気軽に行ける場所ではない。 霧島市には同類の施設が5館あり、今後統合を含めた総合的な見直しが必要である。(平成20年3月に方針決定)	

事務事業名	国分郷土館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 国分郷土館の企画展、収蔵品展、スタンプラリー等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。 また、隼人歴史民俗資料館、隼人塚史跡館と連携して、有効活用できないか検討する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

[担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	建物の老朽化による雨漏りで、資料の被害が懸念される。 人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展やイベント、常設展示物の内容や手段を工夫する。入館者の増加につながる方策を検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 屋根の雨漏り修繕が必要である。 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。 地域の特色を活かした企画展やイベントを実施するために、郷土館に収蔵している資料はもちろん、地域に眠っている資料の発掘を行う。また、各種イベントについての広報周知を図る。 常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。 スタンプラリーなど郷土館へ足を運ぶきっかけ作りの事業を展開する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
国分郷土館の場所は城山公園の隣にあり、公共交通機関が整備されていない。 雨漏りは屋根全体に浸透しており、全面修繕が必要であるため多額の予算が必要となる。 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴集し、慎重に検討していく必要がある。

No.	1250-320	事務事業名	横川郷土館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	05	156010	郷土館管理事業	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
横川地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 63 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
展示資料の充実 スタンプラリー(国分郷土館主催)		ア	開館日数
			日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
展示資料の充実 クイズラリー		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市民 市民以外の人		名称	
		単位	
		ア	霧島市民の数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。		名称	
		単位	
		ア	入館者数
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		名称	
		単位	
		ア	郷土の歴史を学んだ市民の数
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	8	12	8	27	
		一般財源	千円	2,719	2,078	2,199	1,363	
事業費計(A)		千円	2,727	2,090	2,207	1,390		
活動指標		ア	日	308	314	311	310	
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383	
成果指標		ア	人	178	239	286	263	
上位成果指標		ア	人	8,884	8,753	9,254	9,400	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和63年、横川の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、横川郷土館を建設した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
入館者数が平成13年度225人で、5年間で約20%減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
展示品や史跡の説明ができる人の配置が必要。	

事務事業名	横川郷土館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が実施する必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 横川郷土館の企画展、国分郷土館主催のスタンプラリー等の事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。 また、関連施設との調整を図り、有効活用ができないか今後検討していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費については、館を運営するために必要な最低限の消耗品費、光熱水費、手数料、保険料、委託料がなく、これ以上の削減は不可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 郷土館管理運営は年間105日の委託契約で実施している。これ以上の削減は不可能である。 ただし、関連施設との調整ができるのであれば、削減余地はある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	入館者数に対して、維持費が大きい。必要最低限の維持費用で削減の余地がない。人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展やイベント、常設展示物の内容や手段を工夫する。入館者の増加につながる方策を検討。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。 地域の特色を活かした企画展やイベントの実施と、その広報周知を図る。 常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴し、慎重に検討していく必要がある。

No.	1250-330	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	
	一般	10	06	05	156015	歴史民俗資料管理事業	根拠	
霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例、施行規則								

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収集及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。	単年度のみ 単年度繰返 ↳ (S 54 年度 ~) 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 開館日数	日
企画展「篤姫と島津氏」「昭和の相撲史展」 スタンプラリー(国分郷土館主催)	⇒	イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
スタンプラリー(国分郷土館主催) 島津義久パネル展		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
霧島市民	⇒	ア 霧島市民の数	人
市民以外の人		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。	⇒	名称	単位
		ア 入館者数	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	⇒	名称	単位
		ア 郷土の歴史を学んだ市民の数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	11	9	13	10		
		一般財源	千円	981	1,221	981	857		
事業費計(A)		千円	992	1,230	994	867			
活動指標		ア 日	308	308	308	306			
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
成果指標		ア 人	574	287	550	600			
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和54年、霧島の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、霧島歴史民俗資料館を建設した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
年間の来館者は延べ200人程度であり、土曜、日曜、祭日、に管理してもらうシルバーの方の経費もまかなえない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合含めた総合的な見直しが必要である。	

事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が実施する必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島歴史民俗資料館の企画展、国分郷土館主催のスタンプラリー等の事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。 また、霧島公民館との連携を図り、有効活用ができないか今後検討していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費については、館を運営するために必要な最低限の消耗品費、光熱水費、通信運搬費、手数料、保険料、委託料がなく、これ以上の削減は不可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 郷土館管理運営は年間105日の委託契約で実施している。これ以上の削減は不可能である。 ただし、霧島公民館との連携ができるのであれば、削減余地はある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>入館者数に対して、維持費が大きい。必要最低限の維持費用で削減の余地がない。人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展やイベント、常設展示物の内容や手段を工夫する。入館者の増加につながる方策を検討。</p>										
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><改革改善案> 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。地域の特色を活かした企画展やイベントの実施と、その広報周知を図る。常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴し、慎重に検討していく必要がある。																							

No.	1250-340	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例、施行規則	
	一般	100605			156010	郷土館管理事業		
		100			156015	歴史民俗資料館管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
隼人地区の歴史・民俗資料を集めたり、保存したり、調査研究したり、市民に紹介したりする。そのために資料館の施設を管理運営する。 また、隼人にゆかりのある浜下りや年中行事である灯ろう祭りなどを文化財少年団を組織して伝統的体験学習を行なう。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 56 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 資料館の管理運営、資料収集、常設展、特別展「わが家の宝物展」 文化財少年団の実施 スタンプラリー(国分郷土館主催)		名称 ア 開館日数 単位 日 イ 文化財少年団等の参加者数 単位 人 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 資料館の管理運営、資料収集、常設展、特別展、文化財少年団、クイズラリー		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 霧島市民の数 単位 人 イ 児童・生徒の数 単位 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市民 市内の児童・生徒 市民以外の人		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 入館者数 単位 人 イ 文化財少年団等に参加した人数 単位 人 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 歴史民俗資料に触れて学んでもらう。 貴重な郷土の歴史・民俗資料の散逸を防ぎ、後世へ伝える。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 郷土の歴史を学んだ市民の数 単位 人 イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	96	89	95	139	
		一般財源	千円	3,904	3,901	3,408	3,588	
	事業費計(A)	千円	4,000	3,990	3,503	3,727		
活動指標		ア 日	308	308	306	306		
		イ 人	270	289	316	200		
		ウ						
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,393		
		イ 人	12,096	12,223	121,136	12,028		
		ウ						
成果指標		ア 人	1,876	1,921	2,257	2,100		
		イ 人	270	289	316	200		
		ウ						
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和56年に開館した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
入館者は横ばい傾向にある。一般入館者の他、小学生の郷土の学習、歴史愛好団体の活動の場として利用されているが、ここ数年は大学の博物館実習や中学生の職場体験実習の場としても利用されている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
入館者の増加対策、費用対効果に関する指摘。郷土の歴史について知ることが出来良かった(常設展、特別展)。文化財少年団や郷土館等活用他意見学習を通して、郷土の歴史・文化・風俗などが良く分るようになった。との意見が寄せられている。単年度で終了することなく継続してほしい。	

事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が実施する必要がある。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象にしており、対象・意図ともに適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 魅力的な特別展やイベントなどの実施、ホームページを作成するなど情報を発信することによって来館者の増加が期待できる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財や滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 巡回の特別展などを実施することによって他館との連携や情報の発信を行い、入館者の増加が図られる。また、国分郷土館、隼人塚史跡館と連携し、有効活用できないか検討する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費については、館運営に必要な最低限の消耗品費、光熱費、通信運搬費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 資料館管理運営は非常勤職員と委託で実施している。これ以上の削減は不可能である。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県内でも重要な位置にある資料がかなり保管されているが、これらの情報が発信されていない。今後は地道な調査整理が必要であり、かつ発信の場(特別展等)を設ける必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	期待成果マトリックス: <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	成果	向上			維持			低下		
		コスト																	
		削減	維持																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
<改革改善案> 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。地域の特色を活かした企画展やイベントの実施と、その広報周知を図る。常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。収蔵資料の地道な調査整理を行い、情報を発信する。																			

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
鹿児島神宮近くの奥まった場所にあるため、その存在が知られていないことがある。案内看板の設置や神宮との連携によって参拝者を館の入館者として導くことが可能である。 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴集し、慎重に検討していく必要がある。

事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 隼人塚や八ヤトの歴史について学ぶ最良の場所を提供することによって、関心や理解を深めてもらい、郷土の歴史を正しく理解することに結びつく。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 隼人塚は国指定史跡であり、隼人塚史跡館はそのガイダンス施設としての役割を担っているため必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 隼人塚や八ヤトの歴史について学びたい人は、誰でも隼人塚史跡館を利用できるので適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 企画展や特別展を企画運営することにより、入館者数を増やす。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 平成13年度に開館しており、現段階では補助金等適性化法に抵触する。 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 巡回の特別展などを実施することによって他館との連携や情報の発信を行い、入館者の増加が図られる。 また、国分郷土館、隼人歴史民俗資料館と連携し、有効活用できないか検討する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費のほとんどは、文化財専門指導員1名分の人件費と、館の管理に要する各種の保守管理委託料と光熱水費等であり、現時点においてこれ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 史跡館管理運営は非常勤職員(文化財専門指導員)を1名と、シルバー人材センターへの委託により、来館者への説明対応を行っており、現時点においてこれ以上の削減は不可能である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。 また、霧島市内の他の郷土館等施設と入館料を統一しており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業が館の管理を主体としているため、管理方法、費用負担等全体的には適切と評価するが、入館者数が減少してきているので増加につながる方策を検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 入館者が年々減少してきているので、隼人塚史跡館としての特色を活かした、企画展や特別展などの実施が必要である。 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
小・中学校とも連携を図り、歴史学習や遠足等における行程に入れてもらうよう働きかける。 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴集し、慎重に検討していく必要がある。

No.	1250-370	事務事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業			所属部	教育部
						所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり			課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承			所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	04	文化財の活用			電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	06	07	158090	文化財保護費	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただく。 山ヶ野金山のウォーキング 中学生による案内(説明) 地元地区民による湯茶の接待 郷土芸能の披露 平成20年度全体事業費 1,338千円 (補助金600千円)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成21年3月1日、旧横川町山ヶ野地区を中心に史跡めぐりウォーキング大会を実施。参加者285人。		ア	ウォーキング参加者
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	地元ボランティア
20年度と同様の予定		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市民		名称	
市民以外の人		単位	
		ア	霧島市民
		イ	市民以外の人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解するとともに、ウォーキングを通して地域住民の融和並びに活性化を図る。		名称	
		単位	
		ア	ウォーキング参加者
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		名称	
		単位	
		ア	郷土の歴史を学んだ市民の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	600	600	600	540	
	事業費計(A)	千円	600	600	600	540		
活動指標		ア 人	249	295	285	300		
		イ 人	230	266	260	250		
		ウ						
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		イ 人	0	0	0	0		
		ウ						
成果指標		ア 人	249	295	285	300		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
山ヶ野金山を活かした地域起こしの一貫として14年度から実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
参加者の申込が年々多くなってきている。 地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地域の方々のもてなしや中学生による案内説明など、ウォーキング参加者に変え喜ばれている。	

事務事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 山ヶ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができ、さらには山ヶ野地区の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 霧島市の文化財(山ヶ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 山ヶ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要であることから、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 山ヶ野金山ウォーキングの参加者数、案内説明場所、コース設定、山ヶ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より成果を上げるため実行委員会で検討しているが、現段階では地域住民でできることを含め最大限の協力をいただいている。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 山ヶ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にす心を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 山ヶ野金山の保存・活用、山ヶ野地区の活性化を図るには、本事務事業が最適である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 地域住民(中学生~高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 約266名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の案内については、市報・チラシ・HPなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。ウォーキングの参加者は参加費を出していることから、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本事業に関わった全ての方々(参加者、ボランティア、地域住民)から喜ばれており、文化財の保存・活用、地域の活性化に繋がる事業である。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 本事業は企画の段階から現地(ルート)の整備、当日のおもてなしに至るまで、地域住民(山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会)が主体となって取り組んでいる。今後も、地域総ぐるみで本事業に取り組んでいただきたい。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域住民(ボランティア)の高齢化が進んでおり、今後の事業の取組みに支障は出てくるのではと危惧している。そこで、本事業を山ヶ野地区以外の方々にこれまで以上に呼びかけ、広くボランティアを募る必要がある。																	

事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 霧島市の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることをすることができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 霧島市の文化財を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが重要である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 霧島市は古くは縄文時代に始まり、クマソ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。そのため、新市霧島市には多くの文化財が点在しているが、市内の文化財の所在や歴史・文化について知らない市民が多い。よって、本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考えられる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 史跡をめぐり、市民が直接文化財に触れることは非常に大切なことであり、実物に優るものはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施しているが、参加者に参加料を求める(バスによる市内めぐり)などの工夫が必要である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけている。バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、はがきによる募集を行い、定数を越えた場合は抽選を行っているため公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	文化財保護の意識啓発のために、市民が歴史に親しみやすいコース作りに努めることに留意していくことが重要である。また、参加者へ参加料を求めるということも検討の余地がある。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 霧島市内の、歴史、伝統文化、文化財について知らない市民が数多くいる。また、職員も把握しきれていない文化財等も数多く眠っている。霧島市の重要な文化財等を保存・活用していくためには、職員の研鑽と市民の意識向上が必要であると考え。集合場所など、課題は多くあるが、新たなコースを開拓し、多くのリピーターを呼び込めるようにしていくことが課題である。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新たなルートの開拓には、集合場所や安全面など様々な課題がある。実際に歩いてみなければならないようなこともあり、業務としては大きな負担となる可能性がある。日常の業務の中から、史跡めぐりができるような文化財を見つけ、地域の特性を研究することが重要である。																	